

2021年1月

学校法人 東放学園  
東放学園高等専修学校 殿

## 2020年度 学校関係者評価報告書

東放学園高等専修学校  
学校関係者評価委員会

### 1. 学校関係者評価委員

#### 【関連業界】

島田 文夫 株式会社ディーアイボックス 代表 オーディションプロデューサー

#### 【卒業生】

田嶋 幸弘 ダンサー、NPO法人 Wa-shoi 理事長

#### 【教育、学校運営に関し知見を有する者】

荒川 兼一 都立高等学校 元校長、東放学園高等専修学校 前学校教育アドバイザー

### 2. 事務局

鳶田 慎 東放学園高等専修学校 校長  
清水 大樹 東放学園高等専修学校 副校長 教務教育部 部長  
橋本 光一 学務管理部 部長  
米倉 寿雄 入学広報部 部長  
田辺 裕章 教務教育部 主任  
山本 茂 学務管理部 主任  
小野 喜彦 学務管理部 主任(事務局)  
佐藤 ひとみ 入学広報部 主任

### 3. 学校関係者評価委員会の開催状況

2020年 月日～2021年 月日 メール・郵便等による書面会議にて

### 4. 学校関係者評価結果

※別紙のとおり

※別紙

## 4. 学校関係者評価結果

### 【評定内容】

- 4 : 適切に対応している。課題の発見に積極的で、今後更に向上させるための意欲がある。
- 3 : ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
- 2 : 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
- 1 : 全く対応しておらず不適切である。学校の方針から見直す必要がある。

## I. 2019年度重点目標について

### 重点目標 1「入学者数40名以上を目指す」について

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 入学者40名以上となり目標を大きく上回った点はとても素晴らしい。今年度(2020年度)はコロナ禍で難しいと思うが、学校説明会・体験入学などを意欲的に実施すると良いと思う。</li><li>・ コロナ禍において、エンターテインメント系の仕事などは今後かなりの変化が求められると思う。それに対する変化をアピールしていかないと今後の入学生確保も課題となると思う(例:授業のオンライン化、対面を避けた授業や発表の方法など)。</li><li>・ 全教職員が分担して中学校訪問を実施している。さらに、受験希望者がいる中学校との入学相談を実施している。費用対効果を重視して広告媒体を選定して出稿し、ホームページ対策を強化した。その結果として受験者及び入学者は増加したことを評価する。</li></ul>	3

### 重点目標 2「カリキュラム・時間割・履修ガイド・教務事務系管理システム等の見直し(継続)」について

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 目標通りに進んでいるようで、今後も常に改善の余地の可能性を探りつつ進めると良いと思う。</li><li>・ エンターテインメント系の職業は、今後、変化を以ってお客様に届ける事を考えていかないといけないフェーズに突入して来ていると思う。学校カリキュラムにもそれに応じた、変化を持たせることが今後の課題のように思える。</li><li>・ 多様化する生徒・保護者、及び社会のニーズに対応した専修学校としてのカリキュラムの改善、時間割編成、履修ガイドの改訂等が行われてきた。ICT活用教育について、技術の高度化、グローバル化に対応すべく、さらに内容をブラッシュアップして継続的に改善している。</li></ul>	3

### 重点目標 3「多様な進路を実現し、進路決定率90%以上を維持する」について

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 取り組み方法等、素晴らしいと思う。色んなジャンルの大人の体験談を一人でも多く聞く授業があればさらに良いと思う。</li><li>・ 早い段階からの進路ガイダンスや時代の変化に対する就職先の選択肢など、柔軟に対応している。</li><li>・ 多様な進路に対応するため5分野ごとに主担当を設け、生徒個々にきめ細やかな指導がされている。1年次から進路適性検査や分野別進路ガイダンスを実施している。さらに、キャリア教育を基盤にした生涯学習の視点で年間計画を提示し、進路講座の充実を図ることが望まれる。</li></ul>	4

重点目標 4「生徒指導体制を更に強化し、DO率単年度10%以下を維持する」について

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活の大切さをリアルに体験してほしいと思う。今しかできない何かを全員で体験することは重要だと思う。</li> <li>個人面談など、適切に行なっていると思う。コロナ禍で学校にも負担が掛かっていると思うが、頑張してほしい。</li> <li>毎月実施されている全教職員出席の生徒指導連絡会は生徒の諸問題の共有化だけでなく、生徒指導に対する意識を高め、指導方法を深めることに役立っている。各担当者との連携体制が定着するとともに、スクールカウンセラーの適切なアドバイス生徒指導にとどまらず、三者面談や保護者会にも反映し、保護者との協力体制が生まれている。</li> </ul>	4

II. 評価項目別取組状況について

基準1 教育理念・目的・育成人材像

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒がいつでも確認できる工夫は絶対的に必要だと思う。</li> <li>目まぐるしく変わる、エンターテインメント業界のニーズに対して、現役講師を呼ぶなど、適切に変化をしていると思われるが、昨今の業界は更に厳しく、激動の年を迎えているので、現在行っているカリキュラムの他にも、今年の現状をふまえ、伸びている業種と縮小した業種を選定しての教育が必要であると思う。</li> <li>専修学校としてエンターテインメント業界の人材育成をする一方、多様化する生徒の進路・興味・関心などへの適切な対応力が求められている。5ヶ年事業計画書の作成、見直しを実施し、時代の変化に対応するよう取り組まれている。現役のプロが講師として授業を行い、現場で培われた技術や生の情報、育てる熱意と姿勢は魅力的である。</li> </ul>	3

基準2 学校運営

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>運営方針など素晴らしいと思うが、固定概念に捕らわれず、若い先生の意見を多く取り入れるべきだとも思う。</li> <li>適切な学校運営が行われていると思う。</li> <li>学校運営方針は部門ごとの事業計画書に明記され、年度初めの教職員全体会及び毎月の教職員会議等で周知されている。運営会議等において進捗状況を把握し検証がされている。学生支援を目的とした各種システムの連動が整い、適切な情報システムや業務遂行がなされている。</li> </ul>	4

基準3 教育活動

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に見直し改善を行っている点は評価できる。個性的で才能ある生徒を最大限に伸ばすことも重要な課題だと思う。</li> <li>芸術科としての教育活動は整備されていて良いと思うが、これからの時代は芸術を磨いていだけでは生き残れない時代となっていると思うので、経済や経営者としてのお金の活用法など、ビジネス的観点の教育も必要だと思う。</li> <li>本校独自の専門性の向上が目的の生徒から、「大学入学付与指定校」として上級学校への進学を希望する生徒など、様々な生徒が混在している。多様化する時代のニーズに合った教育課程の見直しや再編成を検討し、改善に取り組んでいる。パソコン検定、文書検定など、資格取得を目標とする科目が開講されている。</li> </ul>	3

基準4 学修成果

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業生の行き先などが一番の説得力になるかと思う。(出身学校などを非公表にするために、進路実績に人名や所属事務所名を載せられないことが多いということについて)プロダクションには気を遣わなくても良いと思う。</li> <li>適切に行われていると思う。今後はプロダクションに所属することが芸能としての道とは限らず、個人でもデビュー出来、個人でもプロモーションなどが出来る時代だと思うので、既存のスキームに囚われずに、柔軟な就職支援などが必要とされる。(例:学校公式のSNSによる発信、生徒がインフルエンサーとなれるための助言指導など)</li> <li>芸術活動・創作活動・進学を含めて進路活動が90%を超えているのは、関連業界の外部講師を依頼し、早い段階から面接指導等、個別指導を重視した指導体制によって、情報提供や意識付けができてきているものと思われる。日本情報処理検定協会が主催する各種試験に於いて「会長賞」「検定委員長賞」を受賞する生徒を多数排出していることを評価。</li> </ul>	3

基準5 学生支援

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>他校に比べ卒業生などへの見守り感は素晴らしい。愛がある学校である。</li> <li>適切に行われていると思う。(2020年で)感染症対策など難しい課題も多く、対応が難しい場合もあると思うが、その時々での対応を期待する。今後はオンライン授業など色々な対策も必要かと思う。</li> <li>進路に関する支援はクラスアドバイザー、進路指導担当者を中心にあたっている。さらに東放学園キャリアサポートセンターが設置されており、全学協力体制で取り組まれている。生活指導についてはスクールカウンセラーを配置し、クラスアドバイザー、生徒指導主任へのアドバイスは保護者との連携を深め、退学者の減少に結び付けている。</li> </ul>	4

基準6 教育環境

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>整った環境があるので「1人放課後タイム」を充実させることで個性はさらに伸びていくと思う。</li> <li>適切に対応されていると思う。感染症なども対策が難しいと思うが、適宜、対応をしてもらいたい。</li> <li>インターンシップに代わる制度として、本校教育課程の教科に基づく芸能活動をしている生徒は、その活動が授業時間と重複する場合、補習や活動レポートの提出により授業に振り替える規程を定め、学業との両立を図ることができる。災害対策委員会を設置し、マニュアルを作成するなど、行動指針を伝達し、防災意識を高めている。</li> </ul>	3

基準7 学生の募集と受入れ

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSはもちろんだが、外でのイベントも重要なコンテンツだと思う。入学オーディションを開催するなどはどうか。</li> <li>今後、エンターテインメント系の職業も激動の変化をしていくと思うので、適宜対応して柔軟な就職支援などをすることが学生募集の増加になると思う。</li> <li>入学選考基準については全教職員による会議によって定め、複数の試験官及び入学選考関係教職員による会議で合否判定が行われている。学納金について、新たな分納方式によって保護者の負担軽減がされスムーズな学費徴収ができています。</li> </ul>	3

基準8 財務

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収支バランスは素晴しく、健全な経営である。</li> <li>・ 入学者数、在校生数の学費納入に見合った支出予算を引き続き継続することが重要。予算編成について「5ヶ年事業計画・単年度事業計画」に基づき、予算・収支計画が策定されている。財務情報の公開(書類の閲覧)については各関係者との連携を確実にに行い、まずは財務書類等閲覧規程に沿って適切に運用していくことが重視される。</li> </ul>	3

基準9 法令等の遵守

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時代の流れとともに対応する力は素晴らしい。HPでの公表の仕方なども含め評価できる。</li> <li>・ 関係法令や専修学校設置基準等に基づく学校運営を行うための体制が整えられている。時代の流れに即応した適正な運営が実施されるように学則変更などの諸届や各種規程の整備・改訂などが行われている。今後、より整備を進め、教職員や関係者への周知徹底を図り、適正な学校運営を進めていくことが望まれる。</li> </ul>	4

基準10 社会貢献・地域貢献

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「社会貢献は可能である」とあり、行動することを望む。</li> <li>・ 地域貢献などは、今後必要不可欠なものになっていくと思いますので、小さな学校周辺の掃除や、近隣企業との連携、近隣飲食店や、中小の商店など連携をとっていくことで、学校の発展にもつながると思われまます。</li> <li>・ 本校の教育分野の特性を生かし、中学校の出張授業や職場訪問学習の協力をしている。過去には近隣小学校の行事に映像・音響・照明の協力をしたり、官公庁や警察のビデオにボランティアで出演をした実績がある。専門性を活かして、公共施設や介護施設等において社会貢献・地域貢献をすることは可能である。</li> </ul>	3

その他 全体的な感想

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今期はコロナ禍で大変な経営だったと思うが、学校の環境は整っているし、何よりも愛があるので素晴らしいと思う。今後も生徒一つ一つの不安を解消できるような学校でいてほしい。</li> <li>・ エンターテインメントの就職のあり方や今後の発展性を考えると、人脈作り、個人の企画発案力、実行力、経営者としての考え方、経済やお金の勉強など、多様で柔軟なことを教授していくことが大切で、学校発展への鍵にも考える。具体的な例では、You TuberなどSNSに特化した人物を講師に招いたり、プロダクションに所属せずとも活躍する方法の模索などをしてみたら良い。学校としてもYou Tubeチャンネルの運用をする、など対策は色々あると思う。</li> <li>・ 近年、私立の通信制高校の応募者が増えていることを考えると、転入学や中途退学後の対応を柔軟にすることが必要になっているのではないかと思います(単位の認定や随時入学など)。</li> </ul>
---

以上